

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	38	令和6年能登半島地震では、当施設も被災。入居者様の人的被害こそ無かったものの、長期間の断水や職員の自宅の損壊等による業務への支障も大きなものがあった。今もなお、石川県西方沖等を震源とする余震が続いている状況でもあり、今回の被災時の反省も踏まえつつ自然災害への対策のさらなる見直しが必要である。	今回の能登半島地震においては、幸運にも入居者様の身体に被害が生じたり、施設が損傷して使用困難となることは無かった。しかしながら、奥能登の介護施設の皆様の被災状況に鑑みれば、明日は我が身との思いを禁じ得ない。中能登町のハザードマップでは、邑知潟断層を震源とする最大震度7の直下型地震の発生も想定されているので、より厳しい災害発生時においても入居者様・職員の安全を確保できるように対策を講じていく。	地震により入居者様が負傷されたり、停電や断水等のライフライン途絶や職員の被災による出勤困難等々の悪条件をあえて想定した上で業務継続計画(BCP)の見直しを行い、訓練を継続実施していく。	6ヶ月
2	253	令和3年以降、コロナ禍の感染対策として外出や面会制限、地域住民との交流を図る行事への参加自粛等を余儀なくされていた。しかし、現在ではコロナ感染対策と社会・経済の活動の両立を図ることが求められる情勢となっている。今後は、外出支援やご家族様との面会、地域との交流等を感染対策を講じながら再開していくことが求められる。	コロナ禍以降に制限・自粛していたご家族様との面会や外出支援、地域住民との交流等を再開する。また、ご家族様に協力を頂きながら感染対策もあわせて実施し、外出を再開したことで感染者が出ないように図っていく。	コロナ禍においては、入居者様とご家族様の面会時に飛沫感染防止のためガラス越しに面会して頂く等の制限を設けていたが、令和7年4月以降は直接対面に戻していく。ご家族様との一時外出も、順次再開していく。地域行事への参加についても、3月19日の気多大社おいで祭りの御神輿招待を皮切りに再開とする。	6ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。